

資料1 「らくらく調査票」の使い方

必要事項を入力するだけで、調査票に必要な計算が簡単にできる「らくらく調査票」を、横浜市ウェブページに掲載しました。らくらく調査票をダウンロードして、必要事項を入力後、ご提出ください。

入力画面

1 **送付番号** /

2 **記載担当者**
 所属
 電話番号
 フリガナ
 氏名

3 **工場・事業所の概要**
 郵便番号
 区町名 郵便番号を入力後、区町名を確認して下さい
 番地
 名称
 大防法番号
 資本金(千円)
 従業員数
 用途地域 選択して下さい

4 **施設の概要**

施設番号	施設名称	届出施設名称	施設設置年月
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年号 年 月

主燃料 補助燃料① 補助燃料② 補助燃料③

大項目	小項目	大項目	小項目	大項目	小項目	大項目	小項目
選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい
最大使用量	最大使用量	最大使用量	最大使用量	最大使用量	最大使用量	最大使用量	最大使用量
通常使用量	通常使用量	通常使用量	通常使用量	通常使用量	通常使用量	通常使用量	通常使用量

5 **施設の稼働状況**

年度使用(稼働)期間		一日における使用(稼働)状況		年度間施設稼働日数	年度間使用(稼働)時間
始月	終月	開始時刻	停止時刻	稼働日数	(稼働)時間
月	月	時	時		

6 **月間燃原料使用量**

月	燃原料使用量
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
合計	

7 **測定結果**
 年度間の測定回数 回

	測定日 (西暦/月/日)	硫黄酸化物 濃度 (ppm)	窒素酸化物 濃度 (ppm)	ばいじん (g/m ³ N)	塩化水素 濃度 (mg/m ³ N)	アンモニア 濃度 (ppm)	酸素 濃度 (%)	水分 (%)	測定時の 乾き排出ガス量 (m ³ N/h)	測定時の 燃料使用量 (時間)
1回目										
2回目										
3回目										
4回目										
5回目										
6回目										

8 **備考**

1

送付番号送付番号 /

郵送された封筒に同封されている調査票の「送付番号」を入力してください。

2

記載担当者

所属	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>

調査票を入力された方の所属、電話番号、氏名（フリガナ）を入力してください。
当課からの問合せの際に使います。施設管理会社の方でも構いません。

3

工場・事業場の概要

郵便番号	<input type="text"/> - <input type="text"/>
区町名	郵便番号を入力後、区町名を確認して下さい
番地	<input type="text"/>
名称	<input type="text"/>
大防法番号	<input type="text"/> - <input type="text"/>
資本金(千円)	<input type="text"/>
従業員数	<input type="text"/>
用途地域	選択して下さい ● → プルダウンメニュー A

(1) 郵便番号

工場・事業場所在地の郵便番号を入力してください。

(2) 区町名

郵便番号を入力すると、区町名がでますので、内容を確認してください。

(3) 番地

区町名が正しければ、番地を入力してください。

(4) 名称、大防法番号、資本金（千円単位）、従業員数

郵送された封筒に同封されている調査票の「工場・事業場の名称、大防法番号」を入力してください。

資本金、当該工場・事業場の従業員数は、分からなければ空欄で構いません。

(5) 用途地域

プルダウンメニュー A から選択してください。

分からなければ空欄で構いません。

4

施設の概要

施設番号	施設名称	届出施設名称	施設設置年月
	選択して下さい		年号 年 月

主燃料		補助燃料①		補助燃料②		補助燃料③	
大項目	選択して下さい	大項目	選択して下さい	大項目	選択して下さい	大項目	選択して下さい
小項目		小項目		小項目		小項目	
最大使用量		最大使用量		最大使用量		最大使用量	
通常使用量		通常使用量		通常使用量		通常使用量	

プルダウンメニューB

プルダウンメニューC

プルダウンメニューD

プルダウンメニューE

- (1) 施設番号
郵送された封筒に同封されている調査票の「施設番号」を入力してください。
- (2) 施設名称
プルダウンメニューB から選択してください。
- (3) 届出施設名称
郵送された封筒に同封されている調査票の「届出施設名称」を入力してください。
- (4) 施設設置年月
郵送された封筒に同封されている調査票の「施設設置年月」を入力してください。
年号は、プルダウンメニューC から選択してください。
- (5) 主燃料（7 ページの別表 1 を参考にし、燃原料の種類を選択してください。）
大項目：燃料の種類をプルダウンメニューD から選択してください。
小項目：燃料の名称をプルダウンメニューE から選択してください。
最大使用量：当該施設の 1 時間当たりの最大使用量を入力してください。
通常使用量：通常の使用状態での 1 時間あたりの平均的な使用量を入力してください。
- (6) 補助燃料①～③
補助燃料がある場合は、(5) と同様に入力してください。

5

施設の稼働状況

年度使用(稼働)期間		一日における使用(稼働)状況		年度間施設稼働日数	年度間使用(稼働)時間
始月	終月	開始時刻	停止時刻		
● 月	● 月	● : ●	● : ●		

プルダウンメニューF

プルダウンメニューG

(1) 年度使用(稼働)期間

当該年度における、通常使用の初めの月と終わりの月をプルダウンメニューFから選択して、入力してください。

(2) 一日における使用(稼働)状況

通常日(0時~24時)における、およその始動時と終了時を、時間単位(■時■分)で、プルダウンメニューGから選択して、入力してください。

(3) 年度間施設稼働日数

使用実績がある施設は、年度の稼働日数を入力してください。

非常用施設で、法定点検以外の稼働がない場合は、「0」と入力してください。

6

月間燃原料使用量

月			
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計			

燃原料の種類は「4 施設の概要」で選択した燃原料の名称が自動で入力されます。

燃原料ごとに各月の使用量の実績を入力すると、合計値が自動計算されます。

7

測定結果

年度間の測定回数 回

	測定日 (西暦/月/日)	硫黄酸化物 濃度 (ppm)	窒素酸化物 濃度 (ppm)	ばいじん (g/m ³ N)	塩化水素 濃度 (mg/m ³ N)	アンモニア 濃度 (ppm)	酸素 濃度 (%)	水分 (%)	測定時の 乾き排出ガス量 (m ³ N/時)	測定時の 燃料使用量 (m ³ N・L・kg/時)
1回目										
2回目										
3回目										
4回目										
5回目										
6回目										

(1) 年度間の測定回数

当該年度に行った測定の回数を入力してください。なお、連続測定を行っている場合は、2か月ごとに平均して「6」回と入力してください。

(2) 測定結果の入力

測定日、測定項目ごとの測定濃度（実測値）、酸素濃度（実測値）、水分（実測値）、測定時の乾き排出ガス量、測定時の燃料使用量を入力してください。

連続測定を行っている場合は、2か月ごとの平均値を入力してください。

測定結果が定量下限未満の場合は、定量下限値を入力してください。

例：ばいじんの実測値が 0.001g/m³N 未満の場合、「0.001」 と入力

8

備考

次の事項があった場合は入力してください。

(1) 年度間の測定回数が遵守できなかった場合

遵守できなかった理由（施設故障、休止中、冬季のみの運転等）を入力してください。

(2) 非常用発電機を点検以外に使用した場合

稼働した状況を入力してください。

(3) 年度間にばいじんの測定を行っていない場合

直近の測定日と測定結果を入力してください。



全ての項目の入力が終わりましたら、**74 行目以降**に表示される調査票の内容（①～⑧）が正しく表示されているかを確認してから、ご提出ください。

大気汚染物質排出量調査票

令和 4 年4月1日 ~ 令和 5 年3月31日(実績) 送付番号

1

提出期限 令和 5 年6月30日

1. 工場・事業場の概要

工場・事業場名称						記載担当者	所属
所在地 市						フリガナ氏名	電話番号
大防法番号		区番号		3	産業コード		資本金(千円)
従業員数		用途地域			SOx規制		NOx規制

2

2. 施設の概要

施設番号	同一施設個数	施設種別	施設名称	届出施設名称	施設区分	施設設置年月	一時間当たり 最大排出ガス量 (属9:届出ベース) (m ³ /時)	年間間歇き排出ガス量 (10 ³ m ³ /年)	常時 測定 S	非常 時 N	施設の稼働状況						
											一日における稼働(稼働)状況		年度(稼働)期間				
										年度間使用(稼働)時間	時	分	時	分	始	終	

4

3. 燃料使用量

種類	上段:硫黄分 下段:窒素分	上段:比重 下段:高発熱量	実測H ₂ O濃度 (L・kg) (m ³ /h, kWh)	実測HCl濃度 (mg/m ³)	実測NH ₃ 濃度 (ppm)	O ₂ 濃度 (%)	水分量 (%)	測定時の軽き排出ガス量 (m ³ /時)	測定時の燃料使用量(時間) (m ³ ・L, kg/時)	月間燃料使用量①				月間燃料使用量②				月間燃料使用量③				月間燃料使用量④			
										4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
①																									
②																									
③																									
④																									
合計																									

6

5

4. 測定結果

測 定 年 月 日	実測SOx濃度 (ppm)	実測NOx濃度 (ppm)	実測H ₂ O濃度 (g/m ³)	実測HCl濃度 (mg/m ³)	実測NH ₃ 濃度 (ppm)	O ₂ 濃度 (%)	水分量 (%)	測定時の軽き排出ガス量 (m ³ /時)	測定時の燃料使用量(時間) (m ³ ・L, kg/時)

7

超 不 変 休 廃

5. ばい塵排出量

ばい塵の年間排出量 (kg)	
SOx	
NOx	
H ₂ O	

備考

8

別表1 燃原料記号及び使用量の単位

固体燃料 (kg)		液体燃料 (L)		気体燃料 (m ³ N)	
記号	名称	記号	名称	記号	名称
21	一般炭	10	特A重油 (LSA含む)	31	都市ガス (LNGを原料として いる都市ガス 13A)
22	コークス (一般燃料用石炭コークス。半成コークス、 コーライト、チャー含む)	11	A重油	32	コークス炉ガス
23	木材	12	B重油	33	高炉ガス
24	木炭	13	C重油 (LSC含む)	36	転炉ガス
25	その他の個体燃料 (タール、アスファルト、ピッチ、グリース、 パラフィン、石油コークス、練炭、豆炭、 ポリマー、廃タイヤ等を含む)	14	軽油	37	オフガス
		15	灯油	38	その他の気体燃料 (天然ガス、炭田ガス等を含む)
		16	原油		
		18	ナフサ		
		19	その他の液体燃料		

気体燃料 (kg)	
記号	名称
34	LNG
35	LPG

原料 (kg)	
記号	名称
41	鉄・鉄鉱石
42	硫化鉱
43	非鉄金属鉱石
44	原料炭
45	原料コークス (還元用コークス)
46	その他の原料 (発熱のないもの)

その他 (kg)	
記号	名称
51	パルプ廃液 ※乾きベースの使用量
53	一般廃棄物
54	産業廃棄物
55	51～54以外のもの (発熱のあるもの)

電気 (kWh)	
記号	名称
61	電気